

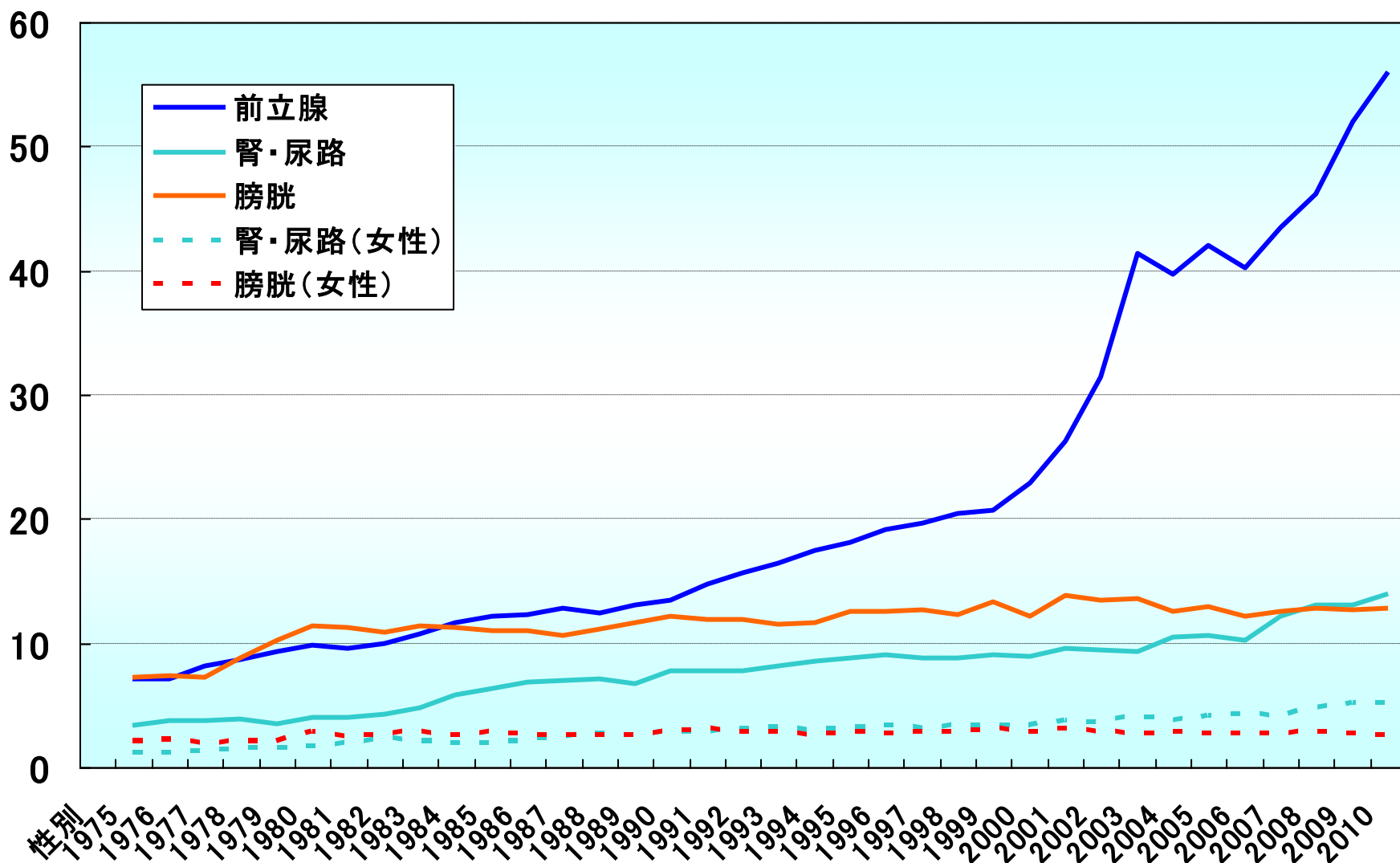
もっと知りたい がん登録 —膀胱がん—

広島市立広島市民病院 医療情報室

大井 憲太郎

症例区分	生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分2: 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 症例区分3: 他施設で診断確定され、自施設で初回治療に関する決定・施行がなされた症例 上記を集計対象とし、算出することとする
治療前ステージ	UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療の行われる以前につけられた病期を指す 我国の通常臨床現場で使用されているがん取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある 癌腫が分類の対象となっていることから、組織診断名コードをもとに、肉腫やリンパ腫、カルチノイドを除いて集計している
治療	登録対象となったがんに対する初回治療である。
初回治療	治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療は含まれないことに注意する必要がある 特に当初、経過観察が計画されて病状が悪化したために治療が行われた場合も初回治療はなしとなる 初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる 症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療も部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから、登録対象の治療に含まれる

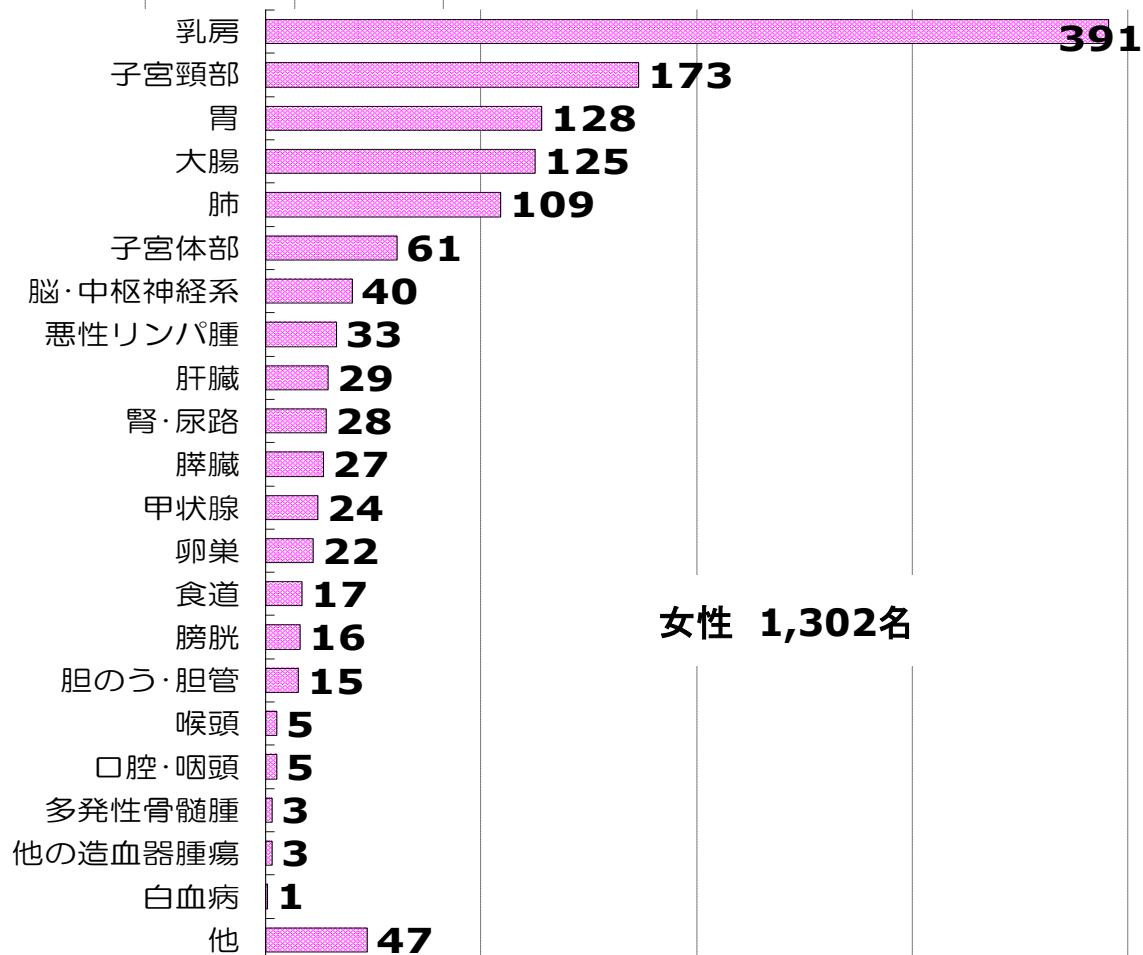
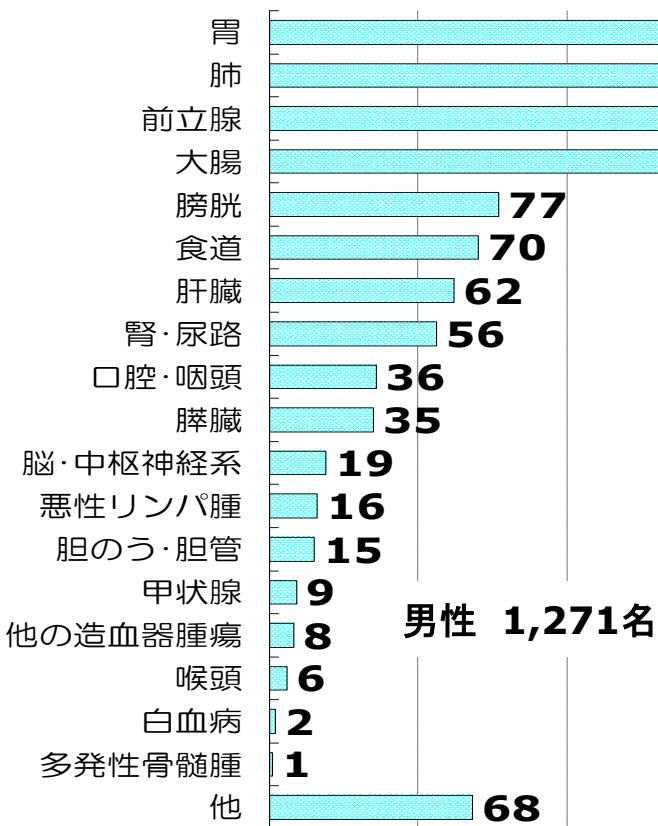
全国推定年齢調整罹患率(泌尿器系がん)
(対人口10万人)(昭和60年日本人モデル人口)



出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Cancer incidence(1975-2010)

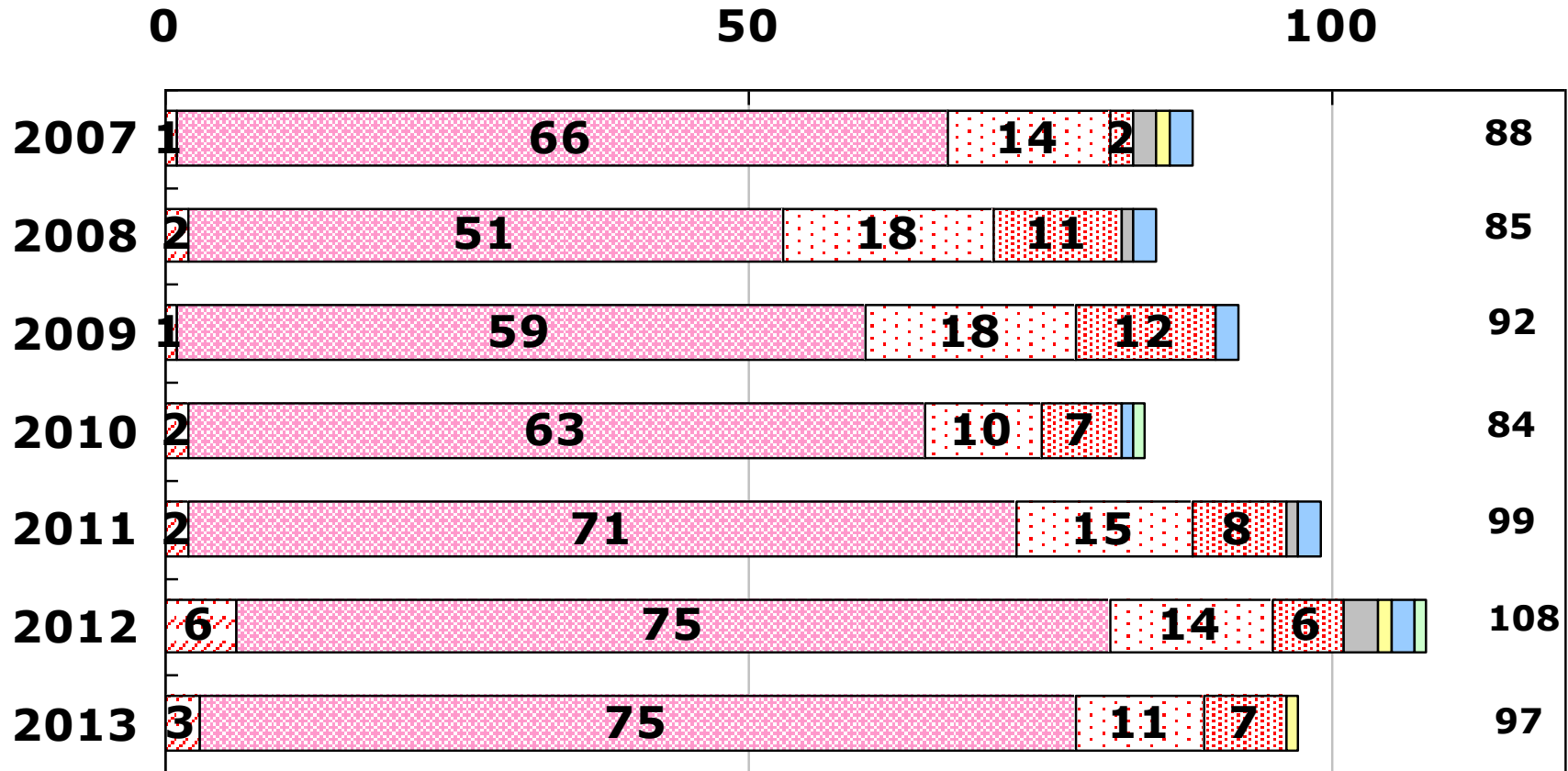
広島市民病院の院内がん登録

性別臓器別登録件数 2013年(初回治療施行例)



院内がん登録 膀胱癌 症例区分別登録数推移

2007年～2013年
登録症例 653例



- | | |
|------------------|---------------------|
| □ 診断のみ | ■ 当院診断、初回治療施行 |
| □ 他院診断後、当院初回治療施行 | ■ 他院初回治療後もしくは当院再発症例 |
| ■ 当院診断、当院経過観察 | ■ 他院診断、当院経過観察 |
| ■ セカンドオピニオン | ■ その他（他施設診断後他院紹介） |

膀胱癌患者さんの居住地域別(医療圏別)割合

(2007年～2013年

653症例)

神奈川県	1	
愛媛県	2	

広島市安佐南区	148
広島市西区	103
広島市中区	83
広島市東区	79
広島市佐伯区	47
広島市安佐北区	46
広島市南区	32
安芸郡府中町	13
広島市安芸区	11
安芸高田市	8
安芸郡海田町	6
山県郡安芸太田町	5
安芸郡坂町	4
山県郡北広島町	3

島根県 邑智郡邑南町	1	
島根県 鹿足郡津和野町	1	
島根県 益田市	1	
島根県 浜田市	2	
島根県 鹿足郡吉賀町	2	

三次市	1	
庄原市	3	

福山市	1	
-----	---	--

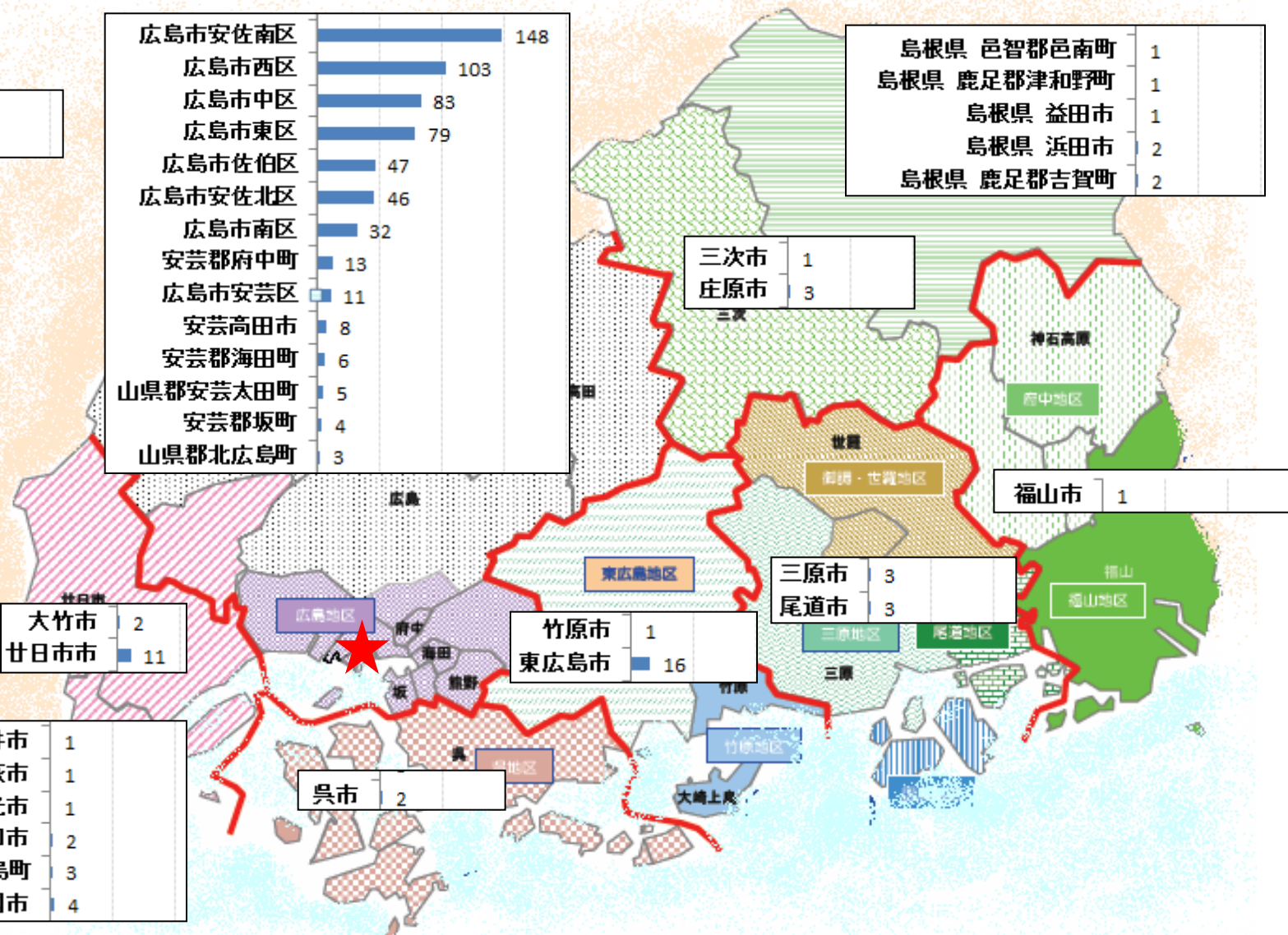
大竹市	2	
廿日市市	11	

竹原市	1	
東広島市	16	

三原市	3	
尾道市	3	

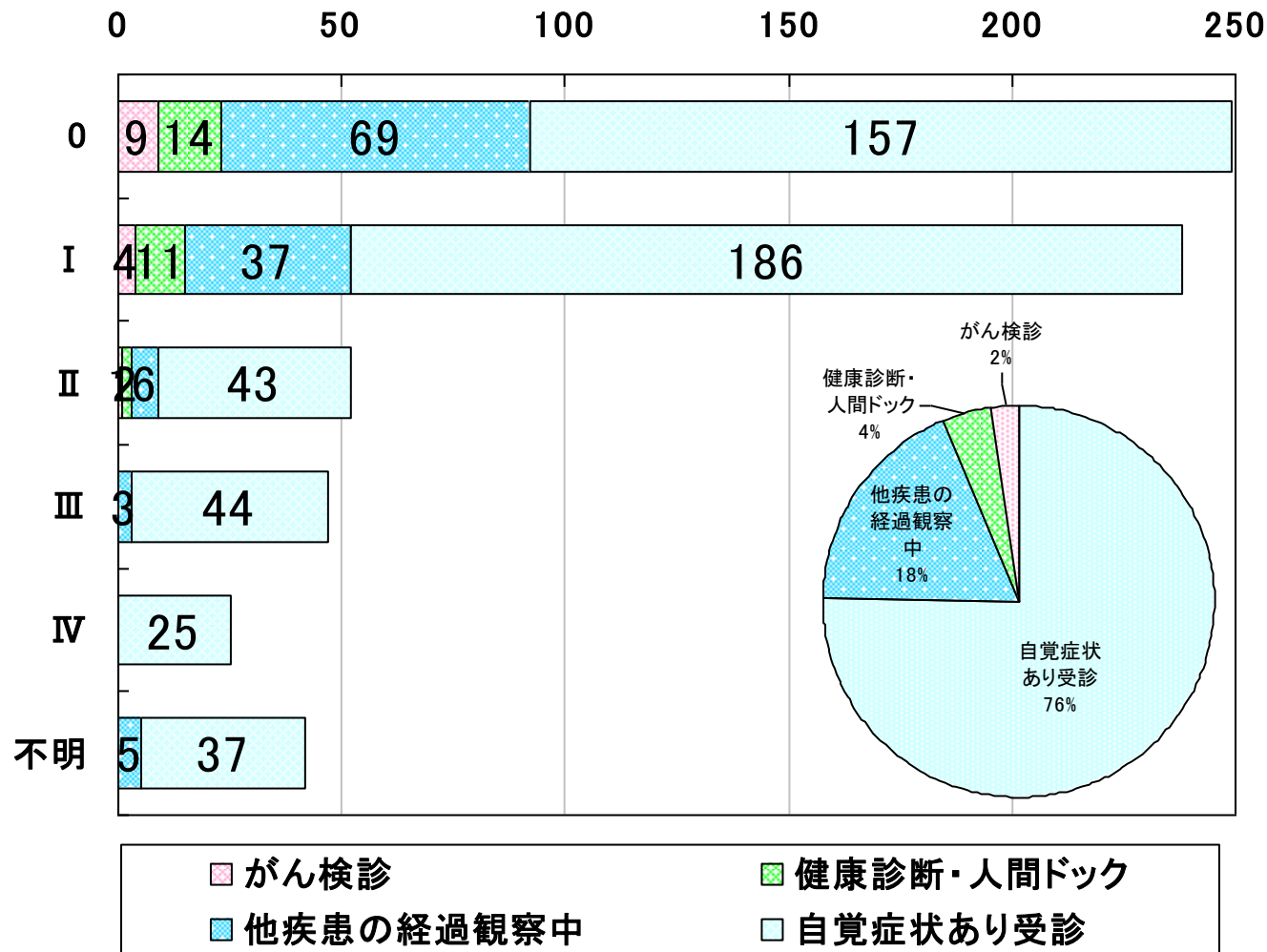
山口県 柳井市	1	
山口県 萩市	1	
山口県 光市	1	
山口県 山口市	2	
山口県 大島郡周防大島町	3	
山口県 岩国市	4	

呉市	2	
----	---	--



膀胱癌ステージ別発見経緯の割合

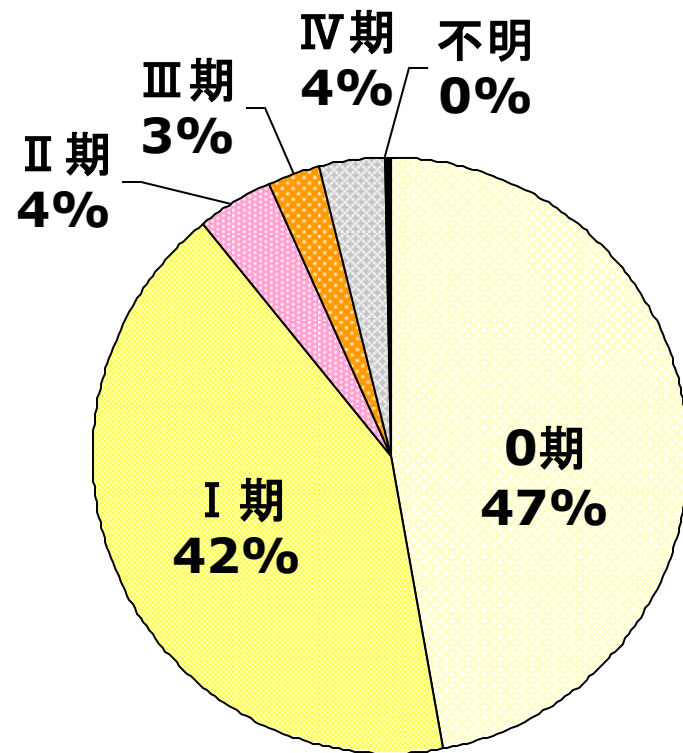
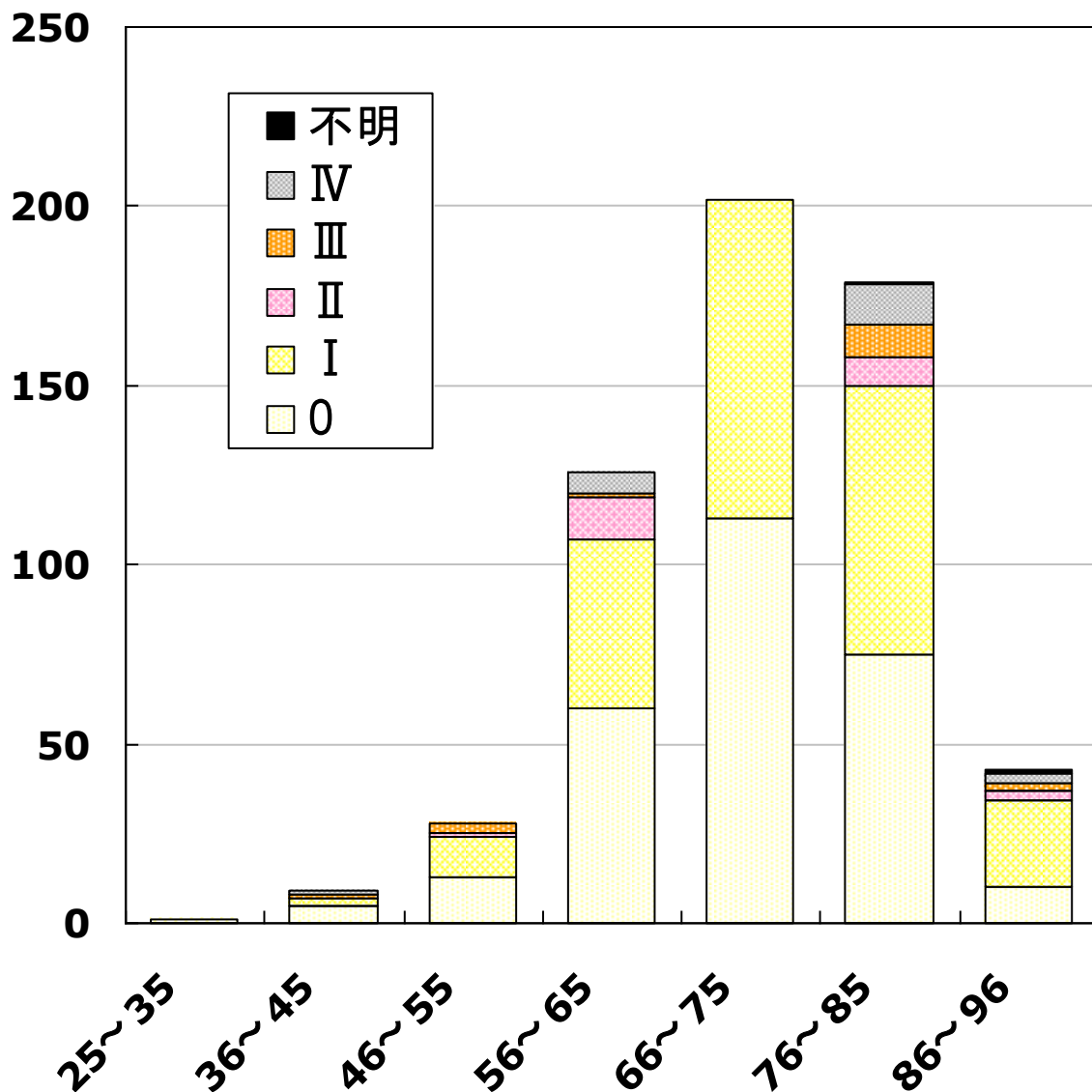
(2007年～2013年 653症例)



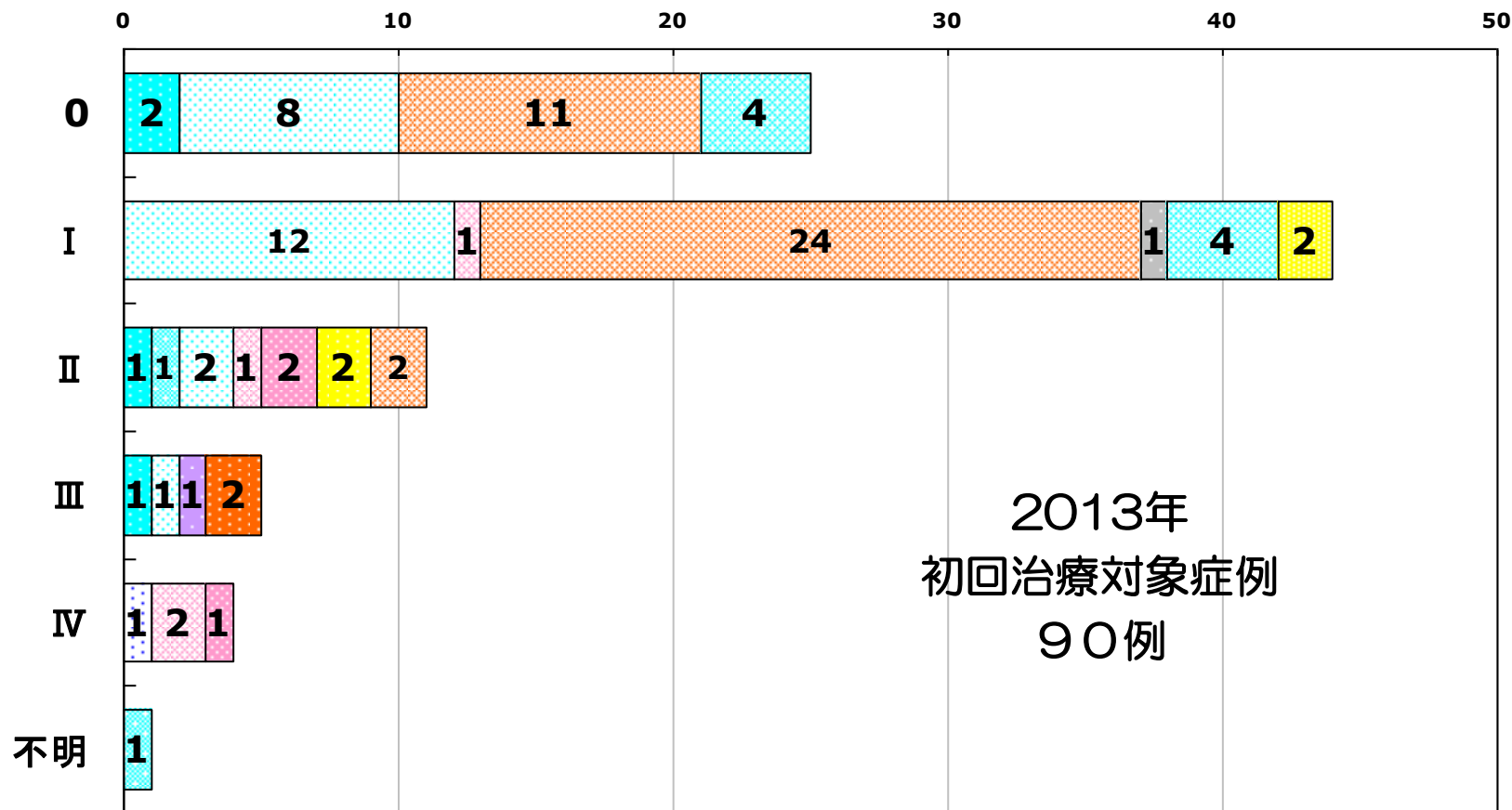
院内がん登録 膀胱癌

年齢階級別Stage別症例数

2007年～2013年
初回治療対象症例
588例



院内がん登録 膀胱癌治療前Stage別 初回治療法症例数



- | | | |
|-----------------------|------------------|---------------|
| ■ 手術のみ | ■ 体腔鏡のみ | ■ 内視鏡のみ |
| ■ その他の治療 | ■ 経過観察 | ■ 手術+化学療法 |
| ■ 手術+内視鏡+化学療法 | ■ 体腔鏡+内視鏡 | ■ 内視鏡+化学療法 |
| ■ 内視鏡+膀胱注化学療法 | ■ 手術+内視鏡+膀胱注化学療法 | ■ 内視鏡+膀胱注免疫療法 |
| ■ 内視鏡+膀胱注化学療法+膀胱注免疫療法 | | |

国立がん研究センターがん対策情報センターから 院内がん登録「施設別集計結果」が一部公開されました

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2013年全国集計報告」

調査の背景と目的

平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、がん診療連携拠点病院が指定・拡充されてきた。

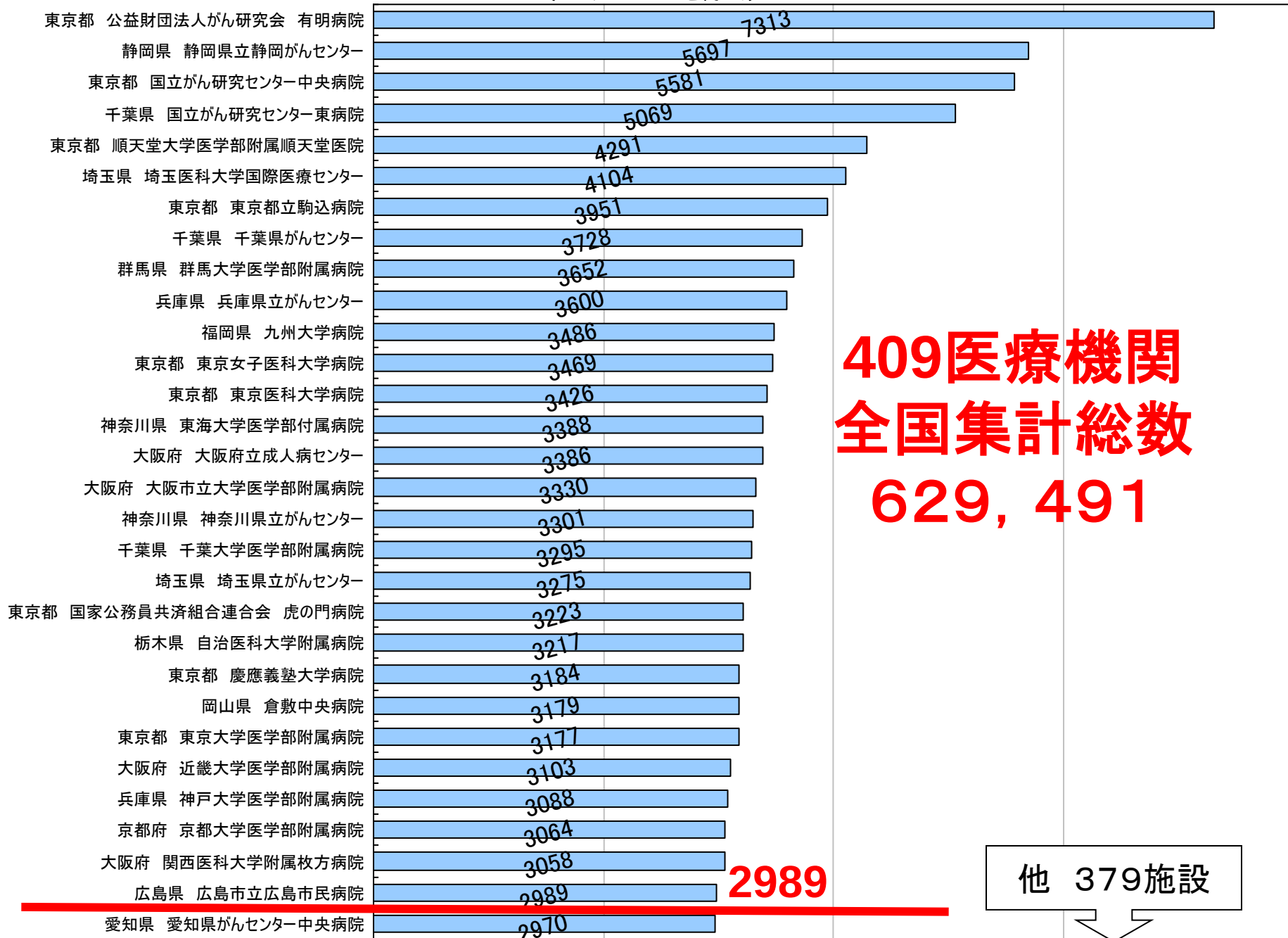
これらのがん診療連携拠点病院は都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つ共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

本調査の目的は、全国のがん診療連携拠点病院において実施されている院内がん登録のデータを集計することにより、以下の基礎資料を提供することにある。

- ①各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる
- ②各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する

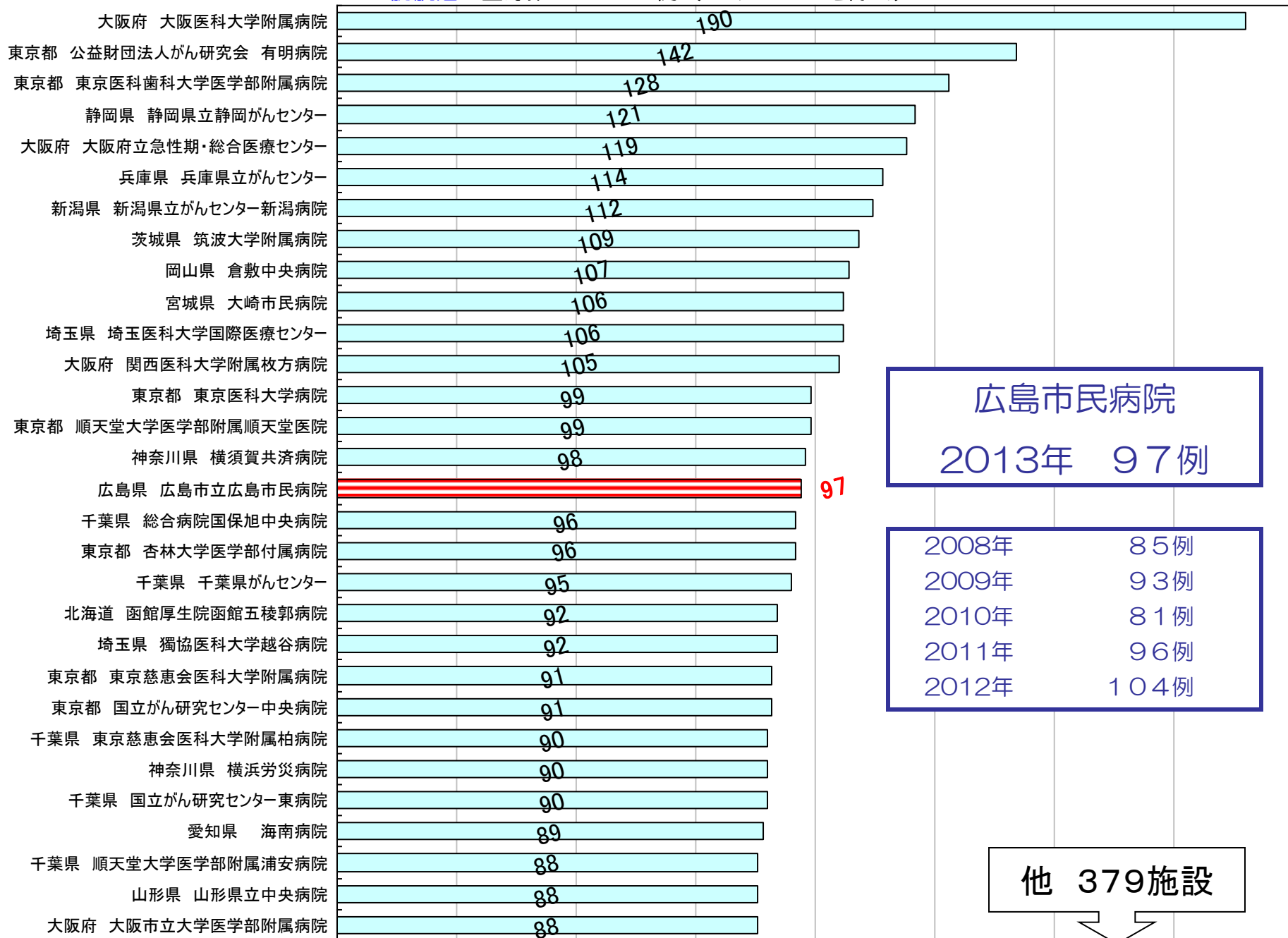
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2013年集計結果（登録総数）

（北海道・沖縄を除く）



全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2013年集計結果

膀胱癌 登録数 19646例（切迫・転移を除く）



広島県がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2013年集計結果

(11医療機関別 膀胱癌 登録数 622例)

